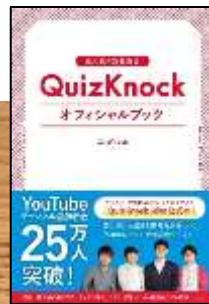
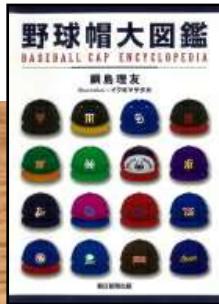


みどりの翼

特集 極める

部活、勉強、趣味、仕事 etc.
極めるって大変なこと

2020年10月 Vol. 72



発行：田原市中央図書館
(TEL: 0531-23-4946)

極みスタートが日本流？

「めづめづ 和文化研究所京都」

小栗左多里 ほか／著 KADOKAWA 2018年 790円 一般



どんな技でも、まず簡単な初歩から始めて、だんだんレベルアップして、極めますよね？でも、この本でさおり＆トニー夫婦が体験しているような日本の伝統芸は、初回からその道の奥深さを味わえるものが多いと感じました。数多の先人が極めたからこそ伝統文化なのですが、その魂が初回にギュッと。一度で上手くいかなくても、「次やったらできそう！」って盛り上がるのが楽しそうです。

「知ること」は楽しいね！

「東大発の知識集団QuizKnock オフィシャルブック」

QuizKnock／著 クラークン 2018年 031.7/7 一般



最近、QuizKnockの動画にはまっています。YouTubeのチャンネル登録者数は2020年9月時点で約149万人！王道から変わり種までさまざまなクイズに向き合う姿はとても楽しそうで、見ているこちらも樂しみながら学ぶことができます。クイズを作ったり、問題文を読み上げたりするところまでこなすのですから驚きです。そんな彼らが作ったクイズにチャレンジしてみましょう。

個人的には間近で名画が見られることがうらやましい

「モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん」

岩井希久子／著 美術出版社 2013年 724.9/1 一般

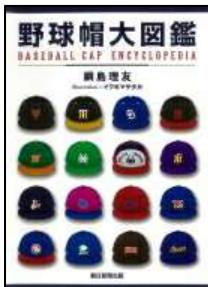


絵画の修復というと、てっきり褪せてしまった色を塗り重ねているものだと思っていました。でも修復の基本は、表面に付着した汚れを落とすクリーニングのこと。しかもヒトのだ液が、一番汚れが落ちやすいんですね。クリーニングによって、描かれた当時の筆使いまで蘇ることも…。油絵だけじゃなく、セル画やベニヤに描かれたものなど作品は様々。プロフェッショナルの技に感服。

写真！？のような繊細なイラスト

「野球帽大図鑑」

網島理友／著 イワキマサタカ／イラストレーション 朝日新聞出版 2020年 783.7/1 一般



少年ならおそらく一度はかぶったことのある野球帽。そもそも野球選手はどうして帽子をかぶるようになったのか？帽子の形はどのように変化したのか？を歴史を辿りながら追究した一冊です。

日本プロ野球12球団の帽子から侍ジャパン、幻の野球帽まで、繊細なイラストとひとつひとつのコメントを読むと作者の野球帽愛がとても伝わってきます。

書籍修復家の道は奥深いなあ

「菜の花工房の書籍修復家」

日野祐希／著 宝島社 2019年 913.6/t/ ティーンズ



母親のすすめるままに大学に進むのか、高校3年生の三峰菜月は卒業の進路に思い悩んでいた。そんな中軽い気持ちで参加した図書館の講座で、幼い頃魔法のように宝物の絵本を直してくれた書籍修復家の豊崎に出会う。弟子入りを拒む豊崎の元で、1年半の期限を条件に修復の基礎を学び始める菜月だったが…。書籍修復に関するバッチャリ解説してくれています。

極めることの空恐ろしさ…。

「絵本・名人伝」

中島敦／原作 小林豊／文と絵 あすなろ書房 2018年 E/J 児童



紀昌は弓の名人になろうと、師の元で2年間はまばたきをせず、3年間は／ミを見続けた。その後射術の奥義を教えられた紀昌は、師がいなければ自分が天下第一の名人になると想え、師に弓の狙いをつけたが…。

『山月記』の著者、中島敦の短編を読みやすい文章にアレンジした絵本。

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見にきてね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

あなたは大丈夫…？

「スマホとゲーム障害」

内海裕美／監修 少年写真新聞社 2020年 493/1 ティーンズ



今の子どもたちは「初めて買ってもらった携帯電話がガラケーではなくスマホ」という子も多いのかなと推測します。スマホは便利で楽しいのですが、リスクもあわせて知っておきましょう。何を、どのように気をつければよいのか、フルカラーで丁寧に書かれています。スマホやSNSを使う時の決まりを、親御さんや友達とつくるのもよさそうですね。

こんな授業うけたかった！！

「悩める女子の教室で偉人が人生を語りだした」

木平木綿／編 学研プラス 2020年 280/1 ティーンズ



世界の偉人女性の皆さんのが教室にやってきて、自分の人生やそこで得た教訓を語ってくれる、新しいスタイルの伝記本です。ジャンヌダルクやクレオパトラといった、伝記マンガでお馴染みの大御所だけでなく、今まであまり取り上げられてこなかったポンパドゥール夫人やエバ・ペロン、ヴァージニア・ウルフなどが登場するのもワクワクします。

夜寝る前にひとりかふたりずつ読むのがいいかも。

主人公が読書嫌いな理由が意外

「読書嫌いのための図書室案内」

青谷真未／著 早川書房 2020年 913.6/アオ ティーンズ



高校2年の荒坂浩二は仕方なく図書委員になったのに、先生に図書新聞の復刊を命じられてしまった。もう一人の図書委員、藤生蛍と図書新聞を作るため、同じクラスの八重樫、美術部の緑川先輩、生物の樋崎先生に本の紹介文の執筆を頼んだが、いずれもスムーズに進まず…。本を紹介するプロセスが、彼らを巡るミステリーを解き明かしていく。

予告：次号の特集は「いろいろアジア」です。お楽しみに♪